



12月の活動の様子

児童発達支援



あけましておめでとうございます

本年も子どもたちが様々な経験を積んで成長していけるよう、取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

ふれあい遊び

外も寒くなったので、室内で思いっきり笑ったり、身体を動かしたりして遊びました。スタッフとペアになって、歌に合わせてくすぐり遊びでは、くすぐられるタイミングで期待しながら、たくさん笑う姿が見られました。くすぐられることが苦手なお友達は、スタッフをくすぐることで参加することができています！さらに、抱っこやおんぶでスピードを出して走ることや、スタッフの足の上に足を乗せて一緒に進む、「あしあしあひる」にも取り組んでいます。スタッフとの関係性も築きながら、楽しんで身体を動かすことを狙いに行っています。シーツ遊びでは、大人気のシーツブランコを行いました。仰向けになって「ピッ」と転がるのが上手になり、揺れが大きくても平気な子が増えてきました。楽しいだけではなく、姿勢を保つために必要な感覚を鍛えることができます！どれも簡単に楽しめるので、お時間のある際には、ぜひお家でも行ってみてください！



クリスマス活動

クリスマス週間で、クッキングを行いました。今回は、自分たちで丸めたり、型に入れて振って作るコロコロおにぎりとおホットケーキミックスと牛乳で作るワッフルを食べました！自分の食べるおにぎりを、手で優しく丸めることがとっても上手にできていました。ワッフルには、生クリームを絞ったり、チョコソースをかけたりして、自分で好きな量を調節していましたよ。好き嫌いがあっても、お友達が美味しそうに食べている様子を見て、「食べてみる」「かけてみる」とトッピングに挑戦する子もいました！「これ、食べれたよ！」「全部食べたよ！」と嬉しそうに報告してくれました。お友達と食べる中で、少しでも食べられるものが増えると嬉しいです♪食べた後には、事前に作成したクリスマスカードを、宝探しや取りゲームでお友達と交換しました。仲良しな子のカードをもらって「やったー！」と喜んでいました。少し特別な雰囲気を楽しむことができました！



放課後等デイサービス

中学生

1か月かけて自分たちで計画を行い、外出企画を実施しました。行き先は「はま寿司」！公共交通機関の料金や乗り継ぎの方法、お店の場所や値段など全て自分たちで調べました◎一生懸命に計画を練ったこともあり、お店でお寿司を食べる時にはみんなとても良い表情でした♪



クリスマス活動

小学生のお友達は、クッキングでカップケーキ作りを行いました。ホットケーキミックスと牛乳を混ぜて自分たちで生地を作りました。お友達とペアになり、役割に沿って、ゆっくりと慎重に牛乳を入れる子、力いっぱい混ぜる子など、それぞれの良さが出ていましたよ。トッピングは、カラフルチョコやキラキラ砂糖を、自分の好きな分をかけました。完成後には、生クリームやチョコソース、アイスをかけて、みんなで食べながらお話をし、楽しいひと時を過ごしました♪

カップケーキを待っている間には、12月の活動で自分の得意なものを発表する準備を頑張っていた、かくし芸大会を行いました。塗り絵で図鑑を作ったり、絵を描いたりすることを得意とする子や、縄跳びや体操、歌など実際にその場で披露する子がいました。緊張する中で、自分の練習した物を披露して、「すごい！」と褒められて、恥ずかしがりながらも嬉しそうにしていました！これが自分の自信になって、得意を活かして輝く姿が楽しみです☆



すがたスタッフプレゼント

今回は、すがた医院のリハビリスタッフプレゼントとして、言語聴覚士が来てくれました。クリスマス週間中だったこともあり、「スタッフの欲しいプレゼントはなんだクイズ」をしました。スタッフが欲しいものを、欲しいものリストの中から当てはめて考えていきます。お友達と3人1組のチームになって考えました。ヒントがなくても、普段の先生たちの会話やイメージを元に一生懸命考えることができていました。スタッフが2名ずつ欲しい物についてのヒントを話しているのを聞いて、何が正解なのか当てようとお話をし考えていました。「思い出に残る物」というヒントを聞いて「カメラは見返すことができるよ！」と自分の思った考えを伝えたり、お友達の意見を聞いて「じゃあこれだ！」と答えを導くことができていました。見事、スタッフ全員分の欲しいプレゼントを当てて、はもれびサンタさんからの「はもれびへの新しいおもちゃのプレゼントをゲットすることができました！」



保育所等訪問支援事業

■12月は、小樽市内、岩内町、共和町、泊村、江別市、札幌市の幼保園、学校等へお伺いする事が出来ました。クリスマスやお正月などの行事制作や、学校では2学期のまとめの学習を行っているところが多かったです。進級や進学を見据えた活動やお話が増えてきている印象で、お子様達も1つお兄さん、お姉さんになる意識が少しずつ見られてきて頑張っています。進級、進学に関して何かご不安な点がありましたらお気軽にご相談下さいね。この1年たくさんのお子様達の頑張りをみる事が出来ました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

はもれびコラム～言語聴覚士～

■今回は、音韻意識についてお伝えします。音韻意識とは、「ことばの音の側面に着目する力」です。例えば、「アリ」という言葉が、「ア」と「リ」の2文字から出来ていることがわかる力です。ことばは、「あ」「い」「う」「え」「お」などと、意味の持たない音を組み合わせることで、意味を持たせています。音韻意識が発達することは、「ことばの意味理解の土台」に繋がります。今回は、お子様と一緒に楽しみながら音韻意識を育てる方法をいくつかご紹介いたします。

【〇から始まる言葉ゲーム】:最初の文字を決め、その音から始まる言葉を一緒に考えるゲームです。音韻意識だけでなく、語彙知識も育てることが出来ます。タイマーなどを用いて、爆弾ゲームのように言い合いっこをすることで、より楽しみながら行うことが出来ます。

【しりとり】:ご存じかもしれませんが、相手の言った言葉の語尾を抜き取り、その言葉から始まる言葉を言っていくゲームです。最初の文字がころころ変わることや、「ん」が付かないように気を付けるなどルールが多い為、【〇から始まる言葉ゲーム】よりも難易度は少し高めです。

【音に合わせて動く】:言葉でなくても、音に合わせて動くことで音韻意識の土台を作る事は出来ます。音楽の大小・高低や、歌詞に合わせて一緒に踊る事で楽しみながら音韻意識を育てることが出来ます。 ※ぜひお家でお子様と一緒に試してみてください！！

